

## 食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

### ○新食品等

<p>米国農務省動植物検疫局 (USDA APHIS)、未認可の遺伝子組換え小麦がオレゴン州で発見された旨発表</p>
<p>公表日：2013年5月29日 情報源：米国農務省動植物検疫局 (USDA APHIS)</p>
<p>① <a href="http://www.aphis.usda.gov/newsroom/2013/05/ge_wheat_detection.shtml">http://www.aphis.usda.gov/newsroom/2013/05/ge_wheat_detection.shtml</a></p> <p>② <a href="http://www.aphis.usda.gov/publications/biotechnology/2013/faq_brs_ge_wheat_detection.pdf">http://www.aphis.usda.gov/publications/biotechnology/2013/faq_brs_ge_wheat_detection.pdf</a></p>
<p>① 米国農務省動植物検疫局 (USDA APHIS) は 5 月 29 日、未認可の遺伝子組換え (GE) 小麦がオレゴン州で発見されたことを発表した。概要は以下のとおり。</p> <p>APHIS は 5 月 29 日、オレゴン州の 1 農場で採取された植物の試料にグリホサート (訳注: 除草剤の一種) 耐性 GE 小麦が含まれていたと発表した。USDA の試験所で検査を行ったところ、モンサント社が 1998 年から 2005 年までの間、16 州で野外試験の実施が認可されていた GE 小麦と同じ品種が含まれていた。オレゴン州立大学 (OSU) の科学者から通知を受け、APHIS は正式に調査に乗り出したもの。現在、米国及び他の地域で販売又は商業生産が認可されている GE 小麦はない。</p> <p>APHIS の担当責任者は「今般の状況を深刻に受けとめており、正式な調査を開始している。まず事情、状況の程度、原因を可及的速やかに特定することを優先事項とする。関係機関と連携し、判明した事項を適宜提供していく。USDA は、この調査に必要とされるあらゆる資源を投入する」と述べている。</p> <p>② APHIS は同日、当該発表に係る Q&amp;A を公表した (6 月 3 日、Q&amp;A 追加)。主な質問及び回答は以下のとおり。</p> <p>Q: 最初の試料について OSU の科学者に問い合わせた理由は?</p> <p>A: オレゴン州の農家が、作付けしていない小麦畑にグリホサート耐性を有する植物が自生していることに気づき、試料を OSU の科学者に送付した。科学者はこの試料を 2013 年 4 月 30 日に受け取り、検査を実施した。その結果、グリホサート耐性を有することが判明した。</p> <p>Q: OSU の科学者から通知を受けた後、USDA はどう対応したのか?</p> <p>A: 2013 年 5 月 3 日に OSU の科学者は、APHIS に連絡した。APHIS は、直ちにこの状況について正式な調査を開始した。原因を調査するために調査員を現地に派遣し、農場から追加試料を採取した。USDA の試験所において、特定のグリホサート耐性 GE 小麦が関係していることを最終的に確認した後、直ちにこの検査結果を公式発表した。</p> <p>Q: APHIS は、オレゴン州での野外試験の実施を認可したことがあるか?</p> <p>A: グリホサート耐性 GE 小麦のオレゴン州での野外試験を最後に認可したのは 2001 年である。</p> <p>Q: 米国食品医薬品庁 (FDA) は、モンサント社のグリホサート耐性 GE 小麦の安全性評価を終了しているのか?</p> <p>A: 終了している。FDA は 2004 年、この GE 小麦に由来する食品及び飼料の安全性について、任意の協議 (voluntary consultation) を実施した。開発者は、この GE 小麦の安全性を裏づける情報を FDA に提出した。FDA は、食品及び飼料としての安全性は、販売されている非 GE 小麦と同等であると評価した。FDA が実施した協議の要約は、次の URL から入手可能。 <a href="http://www.fda.gov/Food/FoodScienceResearch/Biotechnology/Submissions/ucm155777.htm">http://www.fda.gov/Food/FoodScienceResearch/Biotechnology/Submissions/ucm155777.htm</a></p> <p>Q: 米国はオレゴン州産小麦を輸出しているか?</p> <p>A: 輸出している。オレゴン州生産高の 90% が輸出向けである。</p> <p>Q: 今回の発表後に諸外国が取った処置は? (6 月 3 日追加)</p> <p>A: 日本は、GE 小麦の検査手法が確立されるまで食品用ウェスタンホワイト小麦と飼料用ウェスタン小麦の輸入を暫定的に停止すると発表した。韓国は米国産小麦を全て検査する予定であると発表した。欧州連合 (EU) は加盟国に対して、米国産ソフトホワイト小麦を検査するよう提言した。</p>
<p>○関連情報 (海外)</p> <p>オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ) : 消費者向け情報「米国農場で見つかった遺伝子組換え (GM) 小麦に関する通知」</p> <p><a href="http://www.foodstandards.gov.au/consumer/gmfood/Pages/Advice-on-GM-wheat-found-on-American-farm.aspx">http://www.foodstandards.gov.au/consumer/gmfood/Pages/Advice-on-GM-wheat-found-on-American-farm.aspx</a></p> <p><a href="http://www.ogtr.gov.au/internet/ogtr/publishing.nsf/Content/fact-gmwheatJune2013-htm">http://www.ogtr.gov.au/internet/ogtr/publishing.nsf/Content/fact-gmwheatJune2013-htm</a></p> <p>○関連情報 (国内)</p> <p>厚生労働省: 「遺伝子組換え食品の安全性について」 <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/idenishi/dl/h22-00.pdf">http://www.mhlw.go.jp/topics/idenishi/dl/h22-00.pdf</a></p> <p>日本で安全性が確認され、販売・流通が認められている遺伝子組換え食品は、大豆、じゃがいも、なたね、とうもろこし、わた、てんさい (砂糖大根)、アルファルファ、パパイヤの 8 作物。</p>

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fscis/>) をご覧下さい。